

平成25年度 長岡市立図書館の活動評価

図書館法第7条3項の規定に基づき、平成25年度の長岡市立図書館の活動について、次のとおり評価を実施した。評価は、指標に基づく自己評価と長岡市図書館協議会委員による外部評価から構成される。

○ 評価の概要

- ・平成25年度は、ここ数年の評価方法を大幅に見直した。
- ・基本評価については11項目中、Bの評価が2項目（18%）あったが、AAの評価が2項目（18%）、Aの評価が7項目（64%）と、A以上の評価が9項目（82%）であったことから、「全体としては、前年度実績を維持あるいは上回っている」と評価した。
- ・重点事項評価については、16項目の事業別評価では、AAの評価が2項目（12%）、Aの評価が11項目（69%）、Bの評価が3項目（19%）と、A以上の評価が13項目（81%）となった。また、6つの重点項目では、Bの評価が1項目あったが、それ以外はすべてAの評価であったことから、全体として、「優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている」と評価した。

○ 評価の項目

1 基本評価（前年度比較による数値評価）

前年度（平成24年度）の数値と比較し、評価を行った。

① 利用状況

中央図書館入館者数、個人貸出冊数、予約件数、有効登録者数、登録率、実登録者数、登録率、インターネットアクセス件数、中央図書館開館日数、中央図書館郷土資料受入点数、窓口対応満足度

② 運営管理費

図書館費及びその内訳は参考数値とし、評価を行わないこととした。

2 重点事項評価

長岡市立図書館の運営方針における重点事項について、事業報告により、評価を行った。

- 1 課題解決に向けた資料の充実と、利便性の向上を図る。
- 2 当市をはじめとする郷土に関する各種資料の収集・保存・活用に努める。
- 3 市民の意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
- 4 積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、さらなる利用の拡大を図る。
- 5 職場内研修をはじめ、様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。
- 6 施設設備の老朽化に伴い、改修計画を策定し、大規模改修を図る。
※6は参考とし、評価は行わない。

○ 評価の方法

1 図書館の内部評価

- ・項目ごとに前年度数値と比較するなどして算定し、評価した。
- ・「基本評価」、「重点事項評価」とともに、AAからCまでの4段階の評価とした。

区 分	評価区分・内容
1 基本評価	AA … 前年度を大きく上回った。(＋10%超) A … 前年度維持・伸張した。(0～＋10%) B … 前年度を下回った。(0未満～－10%) C … 前年度を大きく下回った。(－10%超)
2 重点事項評価	AA … 優れた取組が多く、十分成果が上がっている。 A … 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている B … 一定の成果は上がっているが、工夫等が必要である。 C … 成果が上がっておらず、改善や見直しが必要である。

2 図書館協議会による評価

① 協議会の開催

- ・日 時 平成26年2月14日(金)
- ・会 場 長岡市立中央図書館講座室 I

② 協議会の意見のとりまとめ

- ・上記協議会における各委員の意見を渡邊誠介委員長(長岡造形大学教授)がとりまとめ、図書館協議会による評価とした。

○ 図書館協議会意見

1、「基本評価」について

- ・利用状況の「特別資料の転載等許可件数」の項目は、具体的な目標値や達成方法などの設定等ができないため、空欄にし、参考として、評価の対象から除く。
- ・有効登録者数及び登録率が、前年度を下回った他は、全ての項目で前年度を上回った実績であり、全体としては、良好な運営状況であると評価する。ただし、有効登録者数は、図書を借りるための前提条件であるため、小中学生などを対象にもっと伸ばす工夫が必要と考える。
- ・継続して評価していくことに意味はあるが、時代の変化に対応して、長岡市立図書館の運営方針における重点事項を再検討するなど、各事業の中で、新しい取り組みを進めていく必要がある。

2、「重点事項評価」について

(1)【2-1 課題解決に向けた資料の充実と、利便性の向上を図る】

- ・中央図書館の月末休館日の試行開館、貸出レシートの配布といった利用者のニーズに合ったサービスの拡充が図られたことは評価できる。
- ・リクエスト等の購入検討冊数の増加は評価できる。
- ・月末休館日の試行開館は、地域図書館でも実施してほしい。

(2)【2-2 当市をはじめとする郷土資料に関する各種資料の収集・保存・活用に努める】

- ・郷土資料の収集・活用については、昨年度よりネットミュージアムのコンテンツや蔵書数が増加したことや、大学との連携やボランティアの活動により、避難所資料の整理が進んだことは評価できる。歴史資料・歴史公文書の保管場所は、現時点では確保されているということだが、効率的な観点も考慮し、十分留意すべきである。
- ・古文書などの歴史資料、歴史公文書及び災害アーカイブスの収集・保存・活用に関して、今後、中心市街地の再開発構想と互尊文庫の老朽化の度合いを並行して検討し、最適な調整を検討すべきである。

(3)【2-3 市民の意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる】

- ・アンケートの回収数は、昨年より上がらなかったが、内容は概ね良好であったことや、ご意見ポストへの要望に対する対応は評価できる。

(4)【2-4 積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、さらなる利用の拡大を図る】

- ・美術センターの自主企画展の「山下清展」は、関連イベントを含め、大変盛況で、すぐれた芸術をより大勢の人たちに紹介し、感動を与えたことは高く評価できる。
- ・緑陰図書館は、ルートや設置場所を工夫した結果、子どもたちの貸出点数が大きく伸びたことは、評価できる。
- ・地域図書館間の連携は、各館の特色資料の交換展示などが行われており、図られていると思うが、図書館以外の地域の関係機関との連携も含めて、さらに取り組みを強化してほしい。
- ・図書館から遠い地域への対応として、支所等と連携を図り、利用者への情報提供がおざなりにならないように配慮してほしい。

(5)【2-5 職場内研修をはじめ、様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る】

- ・人材育成は、どの企業においても大切である。研修方法などの工夫により、評価がAAとなるように努力すべきである。

平成25年度長岡市立図書館の活動評価

1 基本評価

AA	・・・ 前年度を大きく上回った（+10%超）
A	・・・ 前年度維持・伸張した（0～+10%）
B	・・・ 前年度を下回った（0未満～-10%）
C	・・・ 前年度を大きく下回った（-10%超）

① 利用状況

項目	23年度	24年度	25年度	評価	備考
入館者数(中央図書館・人)	369,498	356,353	361,819	A	
個人貸出冊数(冊)	1,626,874	1,615,581	1,637,528	A	
予約件数(件)	154,527	178,658	185,775	A	
有効登録者数(人)	53,374	51,258	50,521	B	
登録率(%)	19.01	18.23	18.08	B	
実登録者数(人)	40,465	38,231	38,317	A	
登録率(%)	14.41	13.60	13.71	A	
インターネット アクセス件数(件)	374,001	418,514	469,534	AA	
中央図書館開館日数	296	293	297	A	
特別資料の転載等許可件数	77	223	166		参考数値
中央図書館郷土資料受入 点数	1,499	2,253	2,851	AA	
窓口対応満足度(大変よい +よい)%	80.9	83.1	87.9	A	P21を 参照

② 管理運営費

項 目	23年度	24年度	25年度	評価	備考
図書館費 (各年度の決算額・千円)	295,725	441,710	412,216		
(うち施設管理経費)	192,384	231,443	244,072		
(うち資料費)	70,501	65,292	65,290		
(うち事業費)	32,840	144,975	102,854		

平成25年度長岡市立図書館の活動評価

2 重点事項評価

- | | |
|----|----------------------------|
| AA | … 優れた取組が多く、十分成果が上がっている。 |
| A | … 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている |
| B | … 一定の成果は上がっているが、工夫等が必要である。 |
| C | … 成果が上がっておらず、改善や見直しが必要である。 |

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-1 課題解決に向けた資料の充実と、利便性の向上を図る。

2-1 重点事項 を達成するための重点事業

- ①月末休館日試行開館
- ②貸出レシート配布
- ③見計らい図書やリクエストの選書購入と買換え等による資料の充実

(1) 重点事業概要

① 月末休館日試行開館

毎月の末日を休館日としているが、末日が土曜日・日曜日に当たった場合に中央図書館のみ試行的に開館した。月末休館日の作業は、翌月曜休館日に行った。

② 貸出レシート配布

平成25年4月から貸出時に資料名と返却期限が印字されたレシート配布を始めた。

③ 見計らい図書やリクエストの選書購入と買換え等による資料の充実

毎週約360冊に及び見計らい図書を評価し、選書会議にて図書館に必要かを議論した。また、利用者から寄せられるリクエストについても受付館で検討した後、選書会議にて再度議論し購入することで、利用者のニーズにも沿った蔵書の充実を図った。

※平成25年度は、新潟県立図書館からモデル館の指定を受けて、地域の課題に対応したサービスとして、ビジネス支援に取り組んだが、試行的であるため、事業別評価の対象にできなかった。

(2) 事業実績

- ① 6・8月の2日間で、利用者約1,500人、貸出点数は約6,500点の増となった。
- ② 貸出レシート配布は利用者には好評であり、督促件数が減少する成果も得られた。
- ③ 収集・廃棄とも多くの職員が内容を確認しながら検討を行った。

(3) - 1 事業別評価

事業	評価	評価理由
①	A	いずれも通常の土日と変わらない利用があり、統計的にも試行開館月は前年度を上回る利用実績となった。
②	A	借りた資料が確認できるようになり、大変多くの利用者から喜ばれている。また、督促状発送数は前年比5%減となり、利用環境が向上した。
③	A	見計らい図書は3%増、リクエスト件数は12%増と、前年よりも多くの資料について購入検討を行い、蔵書の充実を図ることができた。

(3) - 2 総括評価

重点事項	評価	評価理由
1	A	月末開館や貸出レシート発行サービスの実施など、利用者のニーズに沿ったサービス拡充ができた。また、貸出点数も前年度と比較し、1.4%増と、利用増加に繋げることができた。

(4) 今後の課題・方向性

- ・ 情報提供の拠点としての機能強化を図り、より多くの市民から利用してもらえる環境を整備する。
- ・ 図書購入費削減を質で補えるよう、選書する職員個々の資質を向上させていく。
- ・ 課題解決に対応したサービスについては、レファレンス記録の見直しや、職員の研修などを検討し、継続して取り組みたい。
- ・ 合併地域の地域館の資料整備、中央図書館の休館日や開館時間の見直し、館内の検索機のレシート対応については今後の課題としたい。

重点事業報告 2-1-①

重点事業：2-1-①月末休館日試行開館

<目的・概要>

- ・利用者から要望が多かった月末休館日の開館を行い、貸出サービスを充実させる。
- ・毎月末日を全館休館日としているが、末日が土曜日・日曜日に当たる場合に試行開館する。

<評価>

- ・利用の多い土日を開館したことで、試行開館月は利用状況の改善（前年度同月比）が見られた。
- ・月末休館日は市民に定着していないと感じられた。

（平成 25 年度実績）

利用状況

日時	利用者数	貸出点数	返却点数	予約点数	登録者数	入館者数
6月30日	755	3,365	2,749	163	19	1,777
8月31日	752	3,200	2,905	155	29	1,588
11月30日	646	2,867	2,519	166	17	1,469
合計	2,153	9,432	8,173	484	65	4,834

（平成 24 年度実績）

月別貸出点数前年度比較表

月	平成 24 年度	平成 25 年度	前年度比	
			実数	増加率
6月	61,715	64,253	+2,538	104.1%
8月	66,428	69,008	+2,580	103.9%
11月	58,350	59,991	+1,641	102.8%

<課題>

- ・中央図書館の月末作業を翌月の月曜休館日に行ったため、季刊雑誌の処理などに多少遅れが発生した。作業の見直し、効率化が必要である。
- ・全館休館日（月末休館日）は、図書館システム全館停止を必要とするシステム関連作業のために年間数回は必要である。今後平日の月末休館日の開館については、利用者の声を聞きながら、人員体制などを考慮し、検討する必要がある。

重点事業報告 2-1-②

重点事業：2-1-②貸出レシート配布

<目的・概要>

- ・ 職員の返却札作成に関する業務の省力化や、返却日や曜日の誤りによる苦情の根絶を図るもの。
- ・ 長らく利用者の要望に対応できなかった読書履歴としての活用を図るもの。
- ・ 平成25年4月1日から、貸出手続後、返却札の代わりに当日貸出処理を資料の一覧が記載されたレシートを利用者へ渡すもの。

新：貸出レシート



旧：返却札



<評価>

- ・ サービス開始に伴う混乱等はなく、開始当初から好評を得ている。
- ・ 旧返却札より長さが短いことや、貸出資料が記載されていることなどから、以前のように「しおり」としての利用ができないといった声も聞かれた。

(今年度実績)

- ・ 督促状発送件数

	発送数
平成 24 年度	3,238
平成 25 年度	3,088
前年度比	-150

(督促状の発送要件等)

- ・ 長岡市立図書館の内規により実施。
- ・ 返却期限が概ね1か月経過した利用者に対して、月1回発送。
- ・ 予約資料については、土・日曜日に電話で督促を行っている。

<課題>

旧来の返却札と比べサービス運営経費が高額となるものの、利用者からの声や利便性の高さなどからサービスを継続したい。

重点事業報告 2-1-③

重点事業：2-1-③ 見計らい図書やリクエストの選書購入と買換え等による資料の充実

<目的・概要>

- ・毎週約360冊に及び見計らい図書を評価し、選書会議にて図書館に必要かを議論する。また、利用者から寄せられるリクエストについても受付館で検討した後、選書会議にて再度議論して購入することで、利用者のニーズに沿った蔵書の充実を図る。
- ・汚損、破損した図書のうち、図書館に必要なものを適宜買替えし、蔵書の質を一定に保つ。

選書会議



見計らい図書（一部）



<評価>

- ・図書購入費削減による購入冊数減により不足しがちな部分を、大量の見計らい図書から職員が吟味（評価）した内容の充実した図書を購入することで補った。
- ・経年劣化や汚損などにより貸出できなくなった図書は、各館職員が自館の蔵書構成や図書の内容等から適宜買換えを行い、蔵書の質を一定に保った。

（実績）

・見計らい件数

	見計らい冊数	内購入数
平成24年度	12,931	4,955
平成25年度	18,018	8,000
前年度比	+5,087	+3,045

・リクエスト件数

	リクエスト件数
平成24年度	2,259
平成25年度	3,904
前年度比	+1,645

【見計らいについて】

・毎週約360冊の見本図書送付を取次に依頼、内容を確認し選書している。見計らい以外は図書目録等をもとに選書を行った。

【選書会議について】

・毎週月曜日に職員（地域館職員を含む）が1週間分の資料発注について検討した。

・買替え冊数

	買換え冊数
平成 24 年度	2,863
平成 25 年度	3,855
前年度比	+992

<課題>

- ・限られた予算内で資料の充実を図るためには、内容の充実した図書を適切に購入する必要がある。そのため、日々の情報収集や蔵書管理などを通して利用者ニーズや資料収集方針・資料選定基準に沿った図書を購入できるよう、職員個々の研鑽が必要と考える。

2-2 重点事項評価

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-2 当市をはじめとする郷土に関する各種資料の収集・保存・活用に努める。

2-2 重点事項 を達成するための重点事業

- ① 貴重資料の公開
- ② 郷土資料の充実
- ③ 古文書など歴史資料、歴史公文書の収集・保存・活用
- ④ 災害アーカイブスの収集・保存・活用

(1) 重点事業概要

- ① 貴重資料の公開
ネットミュージアム、エントランス展示を充実させ定期的に資料の展示を行った。
- ② 郷土資料の充実
 - ・長岡市内の郷土資料を中心に、新潟県内の郷土資料についてより一層の充実を図った。
 - ・郷土出版物の出版情報に注目するとともに、関連施設と連携を図りながら情報収集をした。定期的に郷土資料の出版情報を収集し、新聞のチェックや長岡市役所各課へ資料の寄贈依頼を行った。
- ③ 文書など歴史資料、歴史公文書の収集・保存・活用
 - ・各種講座の開催、長岡市史双書の刊行、歴史資料所在確認調査などを行った。
 - ・平成 25 年度廃棄文書目録（予定表）から、歴史公文書を選定。各課から収集した歴史公文書を整理し、保管した。
- ⑤ 災害アーカイブの収集・保存・活用
災害と復興の経験・教訓を後世に伝えるため、中越大震災・東日本大震災等の災害記録の収集・整理・保存・活用を行った。

(2) 事業実績

- ① 貴重資料の公開
 - ・ネットミュージアムにコンテンツ追加3点
 - ・エントランス展示回数年間14点（平成24年度12点）
- ② 郷土資料の充実
 - ・図書館全体で、約3,000点の受入れのうち、寄贈受入は280点（平成24年度240点）
- ③ 古文書など歴史資料、歴史公文書の収集・保存・活用
 - ・古文書など歴史資料寄贈受入点数 7,834点（平成24年度 400点）
 - ・歴史公文書の収集・保存。1,022点・ダンボール箱158箱（平成24年度 815点・ダンボール箱107点）

④ 災害アーカイブスの収集・保存・活用

・長岡市資料整理ボランティアの活動。全 11 日活動、延べ 114 人参加。

(3) - 1 事業別評価

事業	評価	評価理由
①	A	ネットミュージアムのコンテンツ追加を行うとともに、エントランス展示を充実させ、貴重資料を数多く紹介した。
②	A	関係部署との連携や出版情報の把握に努めた。郷土資料の蔵書数は、図書館全体で、例年と同様 3, 000 冊程度増加した。
③	A	古文書など歴史資料、歴史公文書の適切な収集・保存・活用に努め、旧種芋原小学校など新たな保管場所を確保した。
④	A	東日本大震災避難所資料（長岡ロングライフセンター）の整理を進め、新潟大学主催のシンポジウム等で活動成果を報告した。

(3) - 2 総括評価

重点項目	評価	評価理由
2	A	ネットミュージアムのコンテンツの数や郷土資料の蔵書数も概ね例年通りの増加が確保できた。また、東日本大震災避難所資料については整理が進み、シンポジウムでその活動報告をし、災害アーカイブスの活動を広報する事ができた。

(4) 今後の課題・方向性

- ・郷土寄贈資料を依頼するために外部への積極的な働きかけが必要である。
- ・歴史資料・歴史公文書の保管場所とその整理人員の確保
- ・来年度の中越大震災 10 年に向けて、災害アーカイブス資料の保管・公開場所の確保、及び東日本大震災避難所資料の公開を、関係機関と連携するなかで進めていくことが必要である。

重点事業：2-2-① 貴重資料の公開

<目的・概要>

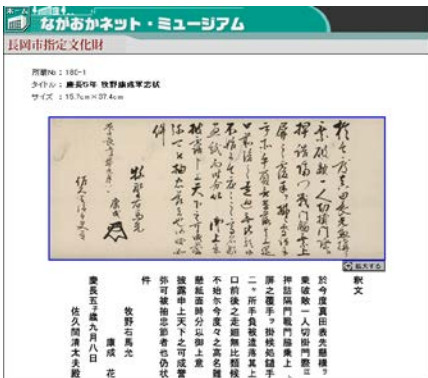
①ながおかネットミュージアムの充実

- ・ 中央図書館で所蔵している貴重資料の公開をして、遠隔地の利用者でも見ることができるようにする。
- ・ ながおかネットミュージアムのコンテンツの追加
- ・ 毎年、数点を公開する。

②エントランス展示

- ・ 貴重資料をはじめとした一般の利用者の目に触れる機会の少ない資料をエントランスに展示する。

ながおかネットミュージアム



エントランス展示



<評価>

① ながおかネットミュージアム

- (平成 25 年度実績) 牧野忠精画「雨龍」をはじめとする貴重資料 3 点追加した。
- (平成 24 年度実績) 長岡市の指定文化財を 5 点追加した。

② エントランス展示回数

- (平成 25 年度実績) 14 回
- (平成 24 年度実績) 12 回

定期的な入替えが定着しており、利用者アンケートにも楽しみにしているという記述がみられた。

<課題>

ながおかネットミュージアムのコンテンツが増えており、構成の整理や検索機能の追加を検討する必要がある。

重点事業報告 2-2-②

重点事業：2-2-② 郷土資料の充実

<目的・概要>

- ・長岡市内の郷土資料を中心に、新潟県内の郷土資料についてより一層の充実を図る。
- ・地方行政資料、地域内刊行資料。地域関係資料などの歴史的資料以外の資料、情報も積極的に収集し、的確に提供するよう努める。

<評価>

	全館郷土資料蔵書数 (各年度4月1日現在の所蔵)	前年比
平成22年度	71,598冊	—
平成23年度	74,686冊	3,088冊
平成24年度	78,572冊	3,886冊
平成25年度	82,043冊	3,471冊

- ・行政資料については年2回各課に送付依頼を行っている。郷土資料についても出版情報に注意して迅速な確保に努めた。
- ・関係する部署との連携により、情報収集に努めた。

<課題>

郷土資料については恒久的な保存をするが、書庫のスペースは限られているため、与板支所の書庫を借用するなど書庫として利用できる場所を検討する。

重点事業報告 2-2-③

重点事業：2-2-③古文書など歴史資料、歴史公文書の収集・保存・活用

<目的・概要>

- ・郷土長岡の歴史を知り、愛着をもってもらうため、文書資料室が所蔵する郷土資料を活用し、各種講座の開催、長岡市史双書の刊行を行う。また郷土の歴史資料を守るため、歴史資料所在確認調査を行い、常時歴史資料の取扱いについて相談を受け付けている。
- ・平成25年度廃棄文書目録（予定表）から、歴史公文書を選定。各課から収集した歴史公文書を整理し、保管する。

長岡市史双書 No.53



長岡市史双書を読む会



<評価>

郷土資料を活用し、各種講座を行ったり、長岡市史双書を刊行したりして、郷土長岡の歴史を知る機会を市民に提供した。また、歴史資料や歴史公文書の収集・保存に努めた。

（平成25年度実績）

- ・各種講座の開催

講座名	回数	参加人数	会場
古文書解読講座（入門・一般）	各8回	532人	中央図書館・中央公民館
長岡市史双書を読む会	4回	185人	アオーレ長岡
歴史資料保存講座	1回	27人	中央図書館

アンケートの結果では、講座参加者の評価は概ね好評だった。

- ・長岡市史双書No.53『江戸時代の旅と旅日記(1) 伊勢・大坂・京都・江戸・鎌倉・日光・草津』800部 刊行
- ・歴史資料所在確認調査 昨年に引き続き、越路地域を調査。調査箇所 18箇所。
- ・歴史資料取扱い相談受付 37件 内訪問調査回数 21件
- ・歴史公文書の保管数・保管場所 28,608点 旧半蔵金小学校・旧種芋原小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書の問い合わせ件数 10件

(平成 24 年度実績)

・各種講座の開催

講座名	回数	参加人数	会場
古文書解読講座(入門・一般)	各8回	542人	中央図書館・中央公民館
長岡市史双書を読む会	3回	132人	アオーレ長岡
歴史資料保存講座	1回	29人	中央図書館

- ・長岡市史双書No.52『長岡市の公会堂 文化の殿堂がみた昭和の長岡』800部 刊行
- ・歴史資料所在確認調査(越路地域)。調査箇所 14箇所
- ・歴史資料取扱い相談受付 25件 内訪問調査回数 14件
- ・歴史公文書の保管数・保管場所 25,623点 旧半蔵金小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書の問い合わせ件数 8件

<課題>

家の建て替えや代替わりなどで、歴史資料の保存についての相談が増えている。そのまま寄贈となるケースも多く、保管場所とその整理人員の確保が難しい。

重点事業報告 2-2-④

重点事業：2-2-④ 災害アーカイブスの収集・保存・活用

<目的・概要>

- ・ 災害と復興の経験・教訓を後世に伝える
- ・ 中越大震災・東日本大震災等の災害記録の収集・整理・保存・活用

資料整理ボランティアの作業



シンポジウムで活動成果を報告



<評価>

東日本大震災避難所資料（長岡ロングライフセンター福祉避難所）の整理を長岡市資料整理ボランティア、新潟歴史資料救済ネットワークと協働で行い、新潟大学主催のシンポジウム等で活動成果を報告した。

（平成 25 年度実績）

- ・ 長岡市資料整理ボランティアは、全 11 日活動、延べ 114 人の参加があった。
- ・ 新潟歴史資料救済ネットワークは、全 1 日活動、25 人の参加があった。
- ・ 平成 25 年 12 月のシンポジウム「震災資料・学校資料をどのように保存し活用するか」（主催：新潟大学災害・復興科学研究所）等で活動報告した。

（平成 24 年度実績）

- ・ 長岡市資料整理ボランティアは、全 7 日活動、延べ 65 人の参加があった。
- ・ 新潟歴史資料救済ネットワークは、全 1 日活動、29 人の参加があった。
- ・ 図録『震災避難所の史料 新潟県中越地震・東日本大震災』を共編で刊行した。

<課題>

- ・ 東日本大震災避難所資料の一部公開
- ・ 災害アーカイブス資料の保管・公開場所の確保
- ・ 来年度の中越大震災 10 年に向けた関係機関との連携

2-3 重点事項評価

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-3 市民の意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

2-3 重点事項を達成するための重点事業

- ① 利用者アンケートの実施
- ② 友の会事業
- ③ ご意見ポストの設置

(1) 重点事業概要

長岡図書館友の会「なりふ」との連携した図書館運営や、利用者からの意見を広く集めることにより、市民といっしょに作り上げる図書館を目指した。

- ① 利用者アンケートの実施
- ② 友の会事業
- ③ ご意見ポストの設置

(2) 事業実績

- ① 利用者アンケートの実施
- ② 友の会事業
- ③ ご意見ポストの設置

(3) - 1 事業別評価

事業	評価	評価理由
①	B	アンケート結果の図書館への評価はおおむね良好だったが、回収数は上がらず、より多くの意見を得ることができなかった。
②	A	個人会員が増加し、順調な活動を行った。
③	A	評価はおおむね良好であり、意見への対応も全て検討し、可能な限り改善した。

(3) - 2 総括評価

重点事項	評価	評価理由
3	A	おおむね順調な業務・活動を行っており、寄せられた意見に対応した。

(4) 今後の課題・方向性

- ・満足度の高い図書館運営を目指すため、アンケートの配布数、回収数をさらに高め、より多くの意見を収集する方法を検討する必要がある。
- ・市民協働は図書館運営には欠くことのできない重要な事項であるため、図書館友の会との協働事業を今後も継続し、さらに連携を深めていく方策が必要と考える。
- ・市長への手紙は今年度13件のご意見が寄せられ、傘立ての設置などの対応を行った。

重点事業報告 2-3-①

重点事業：2-3-①利用者アンケートの実施

<目的・概要>

- ・ 利用者の満足度や要望を把握し、今後の運営に役立てる。
- ・ 来館した利用者に、期間を決めてアンケート用紙を直接配布し、回収する。

アンケート項目

【中央図書館】

- 窓口の対応はいかがでしたか
- 館内や本棚の表示はわかりやすいですか
- 本の種類は充実していると思いますか
- 本日はいつ以来のご来館ですか
- 今後どのようなサービスを希望しますか

【地域図書館】

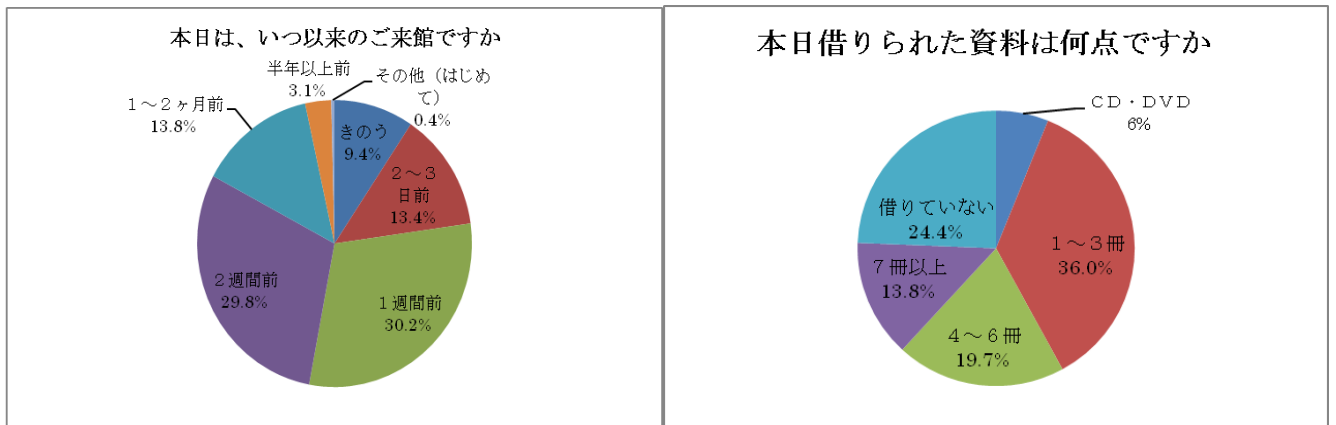
- スタッフの対応、説明は分かりやすいか
- 本が探しやすいよう整理されているか
- 館内がきれいで気持ちよく利用できるか
- 館内のマナーなどは守られているか
- 指定管理者が運営していることを知っているか

など

<評価>

○ 中央図書館のアンケート（配布期間 8 月 20 日より 6 日間）

アンケート配布は時間を決めてエントランスにて配布した。配布数は昨年よりも減少したが、回収率は上がった。窓口対応については「わるい」以下が全回答中 1 票という結果で、窓口対応については、昨年以上の高評価をいただくことができた（よい・大変よい 87.9% ふつう 11.9% わるい・大変わるい 0.2%）。平成 25 年度アンケート集計より（中央図書館）



（平成 25 年度実績）配布 690。回収数 528。回収率 76.52%

（平成 24 年度実績）配布数 988。回収数 674。回収率 68.22%

○ 地域館のアンケート（配布期間 8 月 17 日より 2 週間）

配布数は、昨年より減少したが、全数を回収できた。「スタッフの対応、説明は分かりやすいか」の項目については昨年同様に平均 1.7 点（満点 2 点）と高い評価を得ているが、今後も他の項目も含め、満足度を更に向上させるよう努力していきたい。

（平成 25 年度実績）配布・回収数 737（全て回収）

（平成 24 年度実績）配布・回収数 914（全て回収）

○ アンケート結果への対応

意見に対する対応の一つとして、利用者のマナーに一層の目配りを心がけるようにした。

<課題>

(中央図書館)

- ・本や雑誌の充実に対するサービス向上の意見が多くみられるため、選書について今まで以上に検討していきたい。
- ・アンケートの配布方法を工夫し、配布数、回収数を高めてよりたくさんの意見を募るようにしたい。利用者の目線からの要望に気を配り、業務の改善に役立てていきたい。非来館者へのアンケートも重要であるため、その方法等の検討も必要と考える。

(地域館)

本の種類や、雑誌、新聞の種類に対する満足度が低い水準である。他館からの予約取り寄せをさらに活用していくなど、利用者の満足度を高める工夫をしていきたい。

重点事業報告 2-3-②

重点事業：2-3-② 友の会事業

<目的・概要>

- ・開かれた図書館とするため、市民との連携・協働を進める。
- ・友の会との連携事業を実施する。

松岡達英さん講演会



図書館視察（絵本と木の実の美術館にて）



<評価>

5月に友の会主催の松岡達英さん講演会を実施し、好評を得た。山下清展の音声ガイド貸出補助については、大勢の会員の方々から協力をいただきスムーズに運営できた。

（平成 25 年度実績）

松岡達英講演会、山下展音声ガイド貸出補助、エコ・ブックスフェアの共催、書架整理、おはなし会、布絵本の会、魔法のランプ、つぐみの会、栃尾美術館物販支援など。

個人会員 58 名 賛助会員 11 名

（平成 24 年度実績）

金澤翔子展物販補助、エコ・ブックスフェアの共催、書架整理、おはなし会、布絵本の会、魔法のランプ、つぐみの会など

個人会員 47 名 賛助会員 11 名

<課題>

友の会は結成10年を迎え、活発な活動を行っている。来年度は図書館長との意見交換会を行いたい。現在は図書館が行うことのできない物販などをお願いすることが多いが、会員が主体となった企画・運営の検討が課題。

重点事業報告 2-3-③

重点事業：2-3-③ ご意見ポストの設置

<目的・概要>

- ・開かれた図書館とするため、利用者の意見や要望を広く収集し、今後の運営に役立てる。
- ・意見の回答を掲示するとともに、事業改善を行う。

<要望の例>

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ○トイレのドアの内側に荷物をかけるフックがないところがあるので、つけてほしい。 | ○駐車場の白線が薄く、車を止めにくい(北地域図書館) |
| ○図書のリクエストをインターネット上でも受け付けてほしい。 | ○インターネットが使える PC を設置してほしい(西地域図書館他) |
| ○書架の作者別しきりを増やしてほしい | ○冬期間は自動販売機に暖かい飲み物の種類をもっと増やしてほしい(互尊文庫) |
| ○「●●●」に関する資料を入れてほしい
など (中央図書館) | |

<評価>

- ・窓口対応については、おおむね好評価をいただいた。
- ・書架の仕切りや、トイレのフックなど、普段目の届きにくいところへの意見を聞くことができ、効果的に運用できた。

(地域館)

施設・設備に対する要望も多いが、その中で平成 25 年度は、西地域図書館の駐車場の整備を行った。

<課題>

利用者の目線からの要望に気を配り、業務の改善に役立てる。同じご意見を数回寄せられたことがあり、改善が不十分だと感じたが、匿名のご意見だったため、具体的な要望の詳細を把握することができなかった。

2-4 重点事項評価

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-4 積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、さらなる利用の拡大を図る。

2-4 重点事項 を達成するための重点事業

- ① 美術センター自主事業「生誕 90 周年記念 山下清展」の開催
- ② 読み聞かせボランティア養成講座の開催
- ③ 緑陰図書館の実施
- ④ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

(1) 重点事業概要

長岡市立図書館では、子どもから高齢者までを対象に広く事業を行っている。今年度の事業から4点を
選び評価を行った。

① 美術センター自主事業「生誕 90 周年記念 山下清展」の開催

市政だよりやHPに割引券をつけたり、市政だよりに特集記事を掲載したりするなど広報の工夫を行
った。

② 読み聞かせボランティア養成講座の開催

長岡市子ども読書活動推進計画策定に伴い回数を増加して実施した。

③ 緑陰図書館の実施

図書館から遠い地域の子供達に読書の楽しさを伝え取次所の利用方法を周知した。
市街地の子供達に「米百俵号」を紹介、地域館の利用促進を図った。

④ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

(2) 事業実績

① 「生誕 90 周年記念 山下清展」の開催

8,540 人 (23 日間)

② 読み聞かせボランティア養成講座の実施

③ 緑陰図書館の実施

貸出者数 291 人、貸出冊数 1,325 冊、おたのしみ会参加者数 279 人、新規登録者数 368 人

④ 地域館事業における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

(3) -1 事業別評価

事業	評価	評価理由
①	A	久しぶりの大規模展覧会に挑戦し、多くの集客を得、感動の声をいただいた。長岡花火のPRにも貢献できた。
②	A	昨年度に比べ、講座の回数・参加者数ともに2倍以上に拡大し、内容も幅広く充実することができた。

③	AA	実施場所増の結果、貸出点数を昨年の6倍（過去最高値）に拡大することができた。
④	A	参加者から「地域の特色や歴史をよく知ることができ、素晴らしい会であった。来年以降もぜひ続けてほしい。」との言葉をいただくことができた。また、7つの地域図書館のネットワークを活用した取り組みも好評であった。

(3) - 2 総括評価

重点事項	評価	評価理由
4	A	中央図書館及び各地域館で特色のある事業を実施し、市民の評価もおおむね好評だった。

(4) 今後の課題・方向性

参加者数を増大させるため、広報の方法・対象などを見直し、より効果のある事業に改善していく必要がある。

重点事業報告 2-4-①

重点事業：2-4-①

美術センター自主事業「生誕 90 周年記念 山下清展」の開催

<目的・概要>

図書館という身近な場で、市民が気軽に優れた美術作品を鑑賞できる機会として、年 1 回のペースで開催している。

熱心に作品に見入るお客様



山下清の甥 山下浩氏による作品解説



<評価>

- ・ 目標の 1 万人には達しなかったが、多くの入場者があり、山下清の生き方や作品に感動の声が寄せられた。
- ・ 長岡まつりにあわせて開催したことで、長岡花火のPRにも貢献することができた。
- ・ 約 15 年ぶりの有料の展覧会であり、とまどった市民も多かった。入場者数は昨年度（無料）に比べ減少となった。

(平成 25 年度実績) 8,540 人 (23 日間)

(平成 24 年度実績) 「ダウン症の書家 金澤翔子書作展」 10,140 人 (20 日間)

<課題>

- ・できるだけ多くの方から観覧してもらいたいため、原則全てを無料としたいが、個々の企画により、財政的に有料とする場合がある。その場合、観覧者数が減少することになるが、今後も、予算獲得のため、企画の内容・意図等をアピールしていく必要がある。
- ・栃尾美術館、県立近代美術館にない独自の企画を展開する必要がある。
- ・シティプロモーションや市民協働の視点から、他部署や他団体との共催等を行い、連携を図ったが、より効果が上がる方法等の検討が必要である。

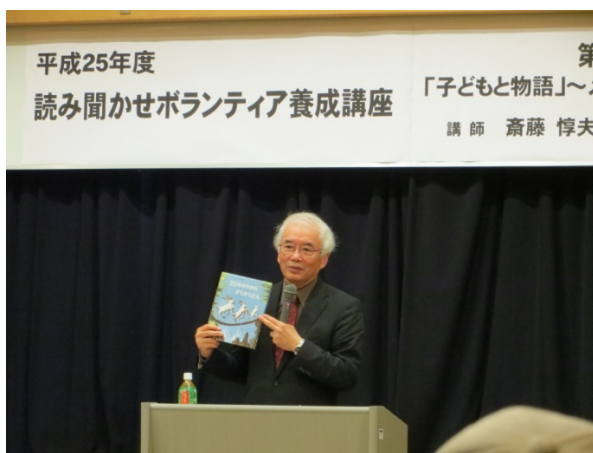
重点事業報告 2-4-②

重点事業：2-4-② 読み聞かせボランティア養成講座の開催

<目的・概要>

おはなし会等で活動する読み聞かせボランティアの養成を目的として、専門家を招き、年1回開催している。今年度は、新潟県の「子ども読書ボランティア読書イベントパッケージ事業」（文部科学省の公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）を受託し、通常の講座に加え、保育園や学校での実践を目的とした講座を追加で行った。その後、先進地視察・受入先開拓・実践を行った。

10/27 「子どもと物語～メディアを超えるもの」



12/3 「なぜ わらべうたなのか」



<評価>

- ・本講座は、近年「絵本」の必要性や選書方法など比較的低年齢層向けの読み聞かせに適した内容が続いていたが、今年度は「ブックトーク」と「物語」を取り上げることができた。これにより、読み聞かせの対象年齢・選書の枠が拡大し、ボランティアの意欲向上につながった。
- ・実践編では、初心者から経験者までの幅広いニーズを満たす各種講座を展開することができた。

(平成 25 年度実績)

- ・読み聞かせボランティア養成講座（毎年継続枠）

【第1回】「楽しいブックトーク」9月28日（土）講師：当館職員 参加者数：18人

【第2回】「子どもと物語～メディアを超えるもの～」10月27日（日）

講師：斎藤惇夫（児童文学作家） 参加者数：88人

- ・文部科学省・新潟県からの受託（補助金）による読み聞かせボランティア養成講座（実践編）

【第1回】「読み聞かせとは何か」11月20日（水）

講師：佐藤あけみ（JPIC読書アドバイザー） 参加者数：49人

【第2回】「読み聞かせの本を選ぶ」 11月26日（火）講師：根岸貴子（子どもの本研究所）

参加者数：48人

【第3回】「なぜわらべうたなのか」 12月3日（火）講師：近藤信子（NHK教育テレビ日本語であそぼう！わらべうたコーナー監修） 参加者数：43人

【第4回】「おはなし会を より豊かに より楽しく～子どもたちと本をつなぐ、子どもたちと本でつながる～」 12月14日（土）・21日（土）《経験者限定2回連続講座》

講師：野上千恵子（新潟こどもの本を読む会） 参加者数：12人

（平成24年度実績）

講師：渡辺順子（すずらん文庫主宰） 参加者数：105人（2日間）

<課題>

- ・ボランティア養成を前面にうたうと、初心者が気軽に参加しづらく、参加者数が伸びていない。将来的にボランティアに結びつきそうな、子育て中の保護者など幅広い層への広報が必要である。
- ・本講座は、長岡市のブックスタートにともないスタートしたもので、今年10年目を迎える。平成24年度に「長岡市子ども読書活動推進計画」を策定したこともあり、今までのやり方を見直し、受け入れ先やボランティアのニーズの把握に努めるなど、より有効な講座を展開する必要がある。

重点事業報告 2-4-③

重点事業：2-4-③ 緑陰図書館の実施

<目的・概要>

- ・自動車文庫「米百俵号」2台で市内公共施設を巡回し、読み聞かせ等のお楽しみ会や、資料の貸出を実施する。また、米百俵号及び図書館サービスのPRを行い、読書普及や通常の米百俵号巡回時の利用増進を図る。
- ・平成 25 年度は、1日2箇所、3日間で6箇所の巡回を行う。図書館や本の取次所近郊の小学校や施設を対象の巡回し、夏休み期間中の読書活動と図書館利用の促進を図る。また、事前の巡回告知にあわせ、貸出カードの新規登録を促し、新規利用者の獲得を図る。

お楽しみ会の様子（大型かみしばいの実演）



米百俵号車内



<評価>

- ・運行日程の効率化を図り、巡回箇所を3箇所から6箇所に増やした。
- ・本事業における貸出冊数は過去最高の1,325冊を記録した。また、開催にあわせ事前の貸出カード作成を実施した結果、369名の新規登録（再発行含む）があった。
- ・お楽しみ会も過去最高の279名の参加があった。

（実績）

- ・巡回箇所

平成 25 年度：青葉台・表町・中島・脇野町小学校、関原コミュニティセンター、小国地域総合センター

平成 24 年度：上通・中之島中央・栢尾南小学校

利用状況

	平成24年度	平成25年度	増 減
貸出者数	41	291	+250
貸出冊数	220	1,325	+1,105
返却冊数	5	188	+183
おたのしみ会 参加者数	116	279	+163
新規登録者数	7	368	+361
更新数	2	0	-2
再発行数	2	1	-1
カード忘れ数	1	18	+17

※新規登録者数は、平成24年度中央図書館月間平均新規登録者数（再発行含む）に相当

<課題>

- ・緑陰図書館は当初木陰の下で読書を行う形で行ってきたが、現在は空調の効いた施設内での実施となり、名称と実態が合致していない。来年度は気候の安定した秋頃に中央図書館隣の文化公園でおはなし会を実施するなど、事業の運営方法を見直したい。名称についても検討したい。

重点事業報告 2-4-④

重点事業：2-4-④

地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

<目的・概要>

- ・特色資料や地域性を生かした事業を実施することで、集客を図るとともに地域に密着した地域図書館を目指す。（南館「摂田屋醸造歴史さんぽ」など）
- ・各地域図書館で地域性を生かした催しなどを開催するとともに、それにあわせて所蔵している特色資料の活用を図る。また、7つの地域図書館のネットワークを生かした取り組みを行う。（地域館全館「図書館を使った調べる学習コンクール：市内全小学校対象」、「各館の特色資料の交換展示」など）

○地域性を生かした事業の実施

（南館「摂田屋醸造歴史さんぽ」、北館「新組地域さんぽ～北越戊辰戦争と長谷川泰」など）

摂田屋醸造歴史さんぽ



新組地域さんぽ



<評価>

- ・南館、北館のほか、西館では「しなのがわたんけん」、中之島館では「六角風絵付け見学会」寺泊館では「寺-TERA 巡り」、栃尾では「城山散歩」を実施した。
- 参加者からは「地域の特色や歴史をよく知ることができ、素晴らしい会であった。来年以降もぜひ続けてほしい」との言葉をいただいた。
- また、図書館にとっては、各地域館とその周辺地域をPRする良い機会となった。

<課題>

- ・南館の「摂田屋醸造歴史さんぽ」は、企画が定着したため募集を開始するとすぐに定員に達し、毎回、お断りする方もでる程好評である。ただその他の館の行事では、申込みの出足が鈍く参加者がなかなか集まらないこともある。今後は、市政だよりだけでなく、各地域館の館内等でもっと行事をPRするなど、参加者を増やしていく方策が必要である。

○図書館を使った調べる学習コンクール地域コンクール

事前説明会



桂小学校での表彰式



<評価>

平成 24 年度は 1 作品だけの応募であったが、平成 25 年度は市内小学校 7 校から 26 作品の応募をいただいた。審査も市内小中学校の図書館協議会の役員の校長先生から行ってもらうことができ、やっと地域コンクールらしい形で開催することができた。

<課題>

平成 25 年度は、各小学校の校長先生に応募をお願いするのが、夏休み近くになり、生徒にコンクールへの応募を呼びかけていただく時期が遅くなってしまった。平成 26 年度は、早々に各小学校にお願いし、もっと応募を増やしていきたい。

○地域館の特色資料の交換展示

西地域図書館の交換展示コーナー



北地域図書館の交換展示コーナー



<評価>

- ・各館で収集している特色資料を、合併により広域化した長岡市の市民・利用者に知っていただく良い機会になった。
- ・各館の特色資料を他地域の方から手にとって見ていただく事ができ、貸出増加に繋がった。

<課題>

・平成 25 年度初めての開催であり、利用者に対しての、事前の PR が不足していたと感じている。また、限られたスペースの中で交換展示の場所を確保するのは難しく、見せ方が少し地味であったため、コーナーがあまり目立たなかった。平成 26 年度からは、コーナーをもっと工夫し、大勢の方から利用していただけるよう対応したい。

2-5 重点事項評価

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-5 職場内研修をはじめ、様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

2-5 重点事項 を達成するための重点事業

①外部研修
②職場内研修

(1) 重点事業概要

① 外部研修

県立図書館主催の研修に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し図書館職員としてのスキルアップを図った。

② 職場内研修

職員研修は主任以上の職員が講師となり、毎年度計画的に実施している。また休館日にDVDを活用した研修を行った。(先進地図書館紹介やブックトーク)

(2) 事業実績

① 外部研修

別紙事業報告のとおり

② 職場内研修

別紙事業報告のとおり

(3) - 1 事業別評価

事業	評価	評価理由
①	B	職員の外部研修への参加は、年間で職員の約半数を派遣しているが予算の都合で全員の参加は難しかった。
②	B	内部研修の内容が職員の希望と合致していない部分があった。研修講師となる職員のスキルアップが必要。

(3) - 2 総括評価

重点事項	評価	評価理由
5	B	図書館業務を行う上で、職員研修は必要不可欠なものであるが、充実した研修を実施したとはいえなかった。

(4) 今後の課題・方向性

今後も職員の専門性を高める研修への参加を継続したい。研修の内容を職員全員で共有できるよう工夫が必要である。内部研修は主任以上の職員が講師を担当しているが、異動により経験年数の浅い職員が講師となる場合も考えられる。司書の専門性を高めるためにはどのような研修が必要なのかテーマ設定、内容について検討が必要である。

職員はそれぞれ個人的に講演会や、国立国会図書館の遠隔研修に参加するなど自己研修を行っている。

重点事業報告 2-5-①

重点事業：2-5-① 外部研修

<目的・概要>

新潟県立図書館などが主催する研修に職員を参加させ、専門性向上を図る。

参加研修

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ① 新潟県公共図書館新任職員研修会 | 中央館 2名 地域館 2名参加 |
| ② 著作権セミナー | 中央館 1名 地域館 2名参加 |
| ③ 新潟県公共図書館児童部門研究集会 | 中央館 2名 地域館 2名参加 |
| ④ 国立国会図書館レファレンス協働データベース担当者研修 | 中央館 1名参加 |
| ⑤ 新潟県公共図書館中堅職員研修会 | 中央館 2名 地域館 1名参加 |
| ⑥ 同和研修 | 中央館 2名参加 |
| ⑦ 新潟県公共図書館総合部門研究集会 | 中央館 4名参加 地域館 1名参加 |
| ⑧ 日本図書館協会ステップアップ研修 | 中央館 1名一部参加 |
| ⑨ 平成25年度新潟県公共図書館職員専門研修会 | 中央館 3名 地域館 2名参加 |

<評価>

(平成 25 年度実績) 中央館 18名参加 地域館 10名参加

(平成 24 年度実績) 中央館 32名参加 地域館 9名参加

<課題>

年度によって県内で開催される研修の回数や内容が異なるため参加人数が異なる。県外の研修は予算の制約があり難しい。自己研修に頼らざるを得ない状況である。

重点事業報告 2-5-②

重点事業：2-5-② 職場内研修

<目的・概要>

主任以上の職員が講師となり、職員の専門性向上・情報共有を図る。

研修内容

○中央館

- ① 人権上配慮を必要とする資料について（5月31日 講師 諏佐主査・井口主任）
- ② 長岡市子ども読書活動推進計画について・選書について
（7月31日 講師：長瀬主査・井口主任）
- ③ レファレンス研修（実習）（9月30日 講師：県立図書館寺尾課長代理 平井主任司書）
レファレンス研修（窓口業務経験5年未満の職員及び嘱託員対象 課題提出と指導）
（10月中 講師：松矢係長）
- ④ 公共施設内における認知症の人の対応について
（1月31日 講師：長寿はつらつ課 伊野保健師 中央館・地域館合同研修）
- ⑤ 図書館の自由に関する宣言について（3月31日 徳永総括主査）

○地域館

- ① 長岡市立図書館の主要事業について・ 図書館業務の留意事項について
（4月30日（長岡地域館合同研修）講師：中央図書館 金垣館長 松矢係長）
- ② 地域連携について各館事例発表・防犯研修
（5月20日及び5月31日（新潟県集合研修）
（講師：各地域館スタッフ 見附警察署(5/20)、三条警察署(5/31)）
- ③ レファレンス研修(実習、発表)（10月31日(長岡地域館合同研修)）

<評価>

（平成 25 年度実績）	中央館 5回実施	地域館 4回実施
（平成 24 年度実績）	中央館 7回実施	地域館 3回実施

<課題>

「人権上配慮が必要な資料の取り扱いについて」「レファレンス研修」については毎年行い、職員の対応の統一とスキルアップを図っている。主任以上の職員が講師を務めているが、講師としての力量が問われ、業務量の負荷が大きい。研修のニーズと、職員の講師としての実力が合わない場合がある。

長岡市立図書館運営方針の重点事項

2-6 施設設備の老朽化に伴い、改修計画を策定し、大規模改修を図る。

2-6 重点事項 を達成するための重点事業

- ① 給水管改修工事
- ② 電気設備取替修繕工事
- ③ 昇降機改修工事、書架補強・耐震対策

(1) 重点事業概要

老朽化に伴う施設設備の改修計画を策定し、大改修を実施した。

- ① 給水管改修工事
- ② 電気設備取替修繕工事
- ③ 昇降機改修工事、書架補強・耐震対策

(2) 事業実績

- ① 給水管改修工事
平成24年度実施設計、平成25年度施工
- ② 電気設備取替修繕工事
平成25年度実施設計、施工
- ③ 昇降機改修工事、書架補強・耐震対策
平成25年度実施設計

参考資料

重点事業報告 2-6-①～③

* 評価を行わない重点事項

重点事業 2-6-① 給水管改修工事
 2-6-② 電気設備取替修繕工事
 2-6-③ 昇降機改修工事、書架補強・耐震対策

<目的・概要>

老朽化が進み、漏水・赤水の発生など不具合が発生している中央図書館の給水管設備の改修を実施した。

【館外設備】 地中埋設管の全面張替え。

【館内設備】 ピット内の配管をシーリング工法により改修を実施。

○施工に伴う断水による利用者への影響

・断水によりトイレは使用できるが手洗いが使用できない期間が生じた。

保健所の指導を仰ぎながら、利用者の衛生環境に十分配慮し、利用者への周知につとめた。

<中央図書館改修の状況及び計画>

改修完了箇所	完了年度	改修計画		完了目標
空調設備冷却塔更新工事	平成22年度	昇降機改修工事	設計完了	平成26年度
非常放送設備更新工事	平成23年度	書架補強・耐震対策	設計完了	平成27年度
空調設備改修工事	平成24年度	ブラインド取替工事		平成28年度
非常通報設備更新工事	平成24年度	美術センター改修		平成28年度
排煙用オペレーター修繕工事	平成24年度	駐車場整備工事		平成29年度
給水管改修工事	平成25年度			
電気設備取替修繕工事	平成25年度			